

## 「播磨の緑」接ぎ木技術講習会の開催

森林林業技術センター 倉橋路枝

重点方針：森林の多面的機能維持  
重点事項：多様で健全な森づくりの推進

### 1 はじめに

森林林業技術センターで開発されたアカマツの品種「播磨の緑」は、マツノザイセンチュウに対して安定した高い抵抗性を持ち、庭園、公園、ゴルフ場などで植栽すれば、薬剤に頼らない松くい虫被害の防除が可能となります。

一方で、クローン苗生産に必要な接ぎ木には一定レベルの技術が求められ、「播磨の緑」の林業用苗木としての安定供給のためにはこの接ぎ木技術の継承・普及が不可欠であることから、森林林業技術センターでは、平成29年から接ぎ穂の提供を開始するとともに、接ぎ木技術講習会を樹木医、苗木生産者向けに行ってきました。

「播磨の緑」の活用をさらに広げるため、昨年度に引き続き県職員等にも参加を呼びかけ接ぎ木技術講習会を開催しました。

### 2 内容

日 時 令和3年3月9日（火）13:00～16:30

場 所 森林林業技術センター 講堂及び苗畑

対象者 樹木医5名、造園関係者5名、一般1名、県職員4名

対応者 森林林業技術センター 橋本主任、中川主任、吉野囑託員、倉橋プログラム

- ①講義「マツノザイセンチュウ抵抗性品種「播磨の緑」の育成経過と普及について」
- ②講義「接ぎ木による抵抗性品種の増殖技術について」
- ③「播磨の緑」接ぎ木技術実習



室内での接ぎ木方法の説明

### 3 結果・考察

例年2月に開催していたところ、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令のため3月に延期しましたが、樹木医等の方は、例年並みの人数に参加いただきました。

これまで苗畑で行っていた接ぎ木方法の説明を室内で行ったところ、分かりやすいと好評でしたので、今後はこのスタイルで開催していきます。

参加者からは、このような品種があるとは知らなかった、地域の松に接いでみたいなどのご意見をいただきました。

### 4 今後の取組・課題

講義内容、実習共に参加者の評価は高く、来年度の開催も期待されています。今後は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で参加できなかった森林ボランティアや林研グループなどにも積極的に参加を呼びかけ、より多くの方に「播磨の緑」を周知して活用を広げてもらえるよう計画していきます。



苗畑での接ぎ木技術実習

### 5 課題に関わった林業普及指導員

森林林業技術センター 林業専門技術員 尾崎真也・倉橋路枝

## 「森林ボランティア講座(リーダー養成編)」で森づくりを考える

森林林業技術センター 倉橋路枝

重点方針：森林の多面的機能維持

重点事項：多様で健全な森づくりの推進

### 1 はじめに

兵庫県では、森林ボランティア活動を正しく、安全に、楽しく、かつ継続して推進するためのリーダーを養成するため、6日間のカリキュラムで森林ボランティア講座(リーダー養成編)を開講しています。

うち、1日を森林林業技術センターが担当することとなっており、当センターが平成29年度に県立フラワーセンターの森林の一角に整備した「災害に強い森づくりモデル林」を活用し、植生調査、森林の評価および整備計画の立案に関する実習を指導しました。

### 2 内容

日 時：令和2年10月24日(土) 10:00～16:00

場 所：県立フラワーセンター 会議室、災害に強い森づくりモデル林

対象者：森林ボランティア14名(受講生6名、リーダー6名、県職員2名)

対応者：森林林業技術センター 山瀬部長、倉橋

プログラム：

- ① 「災害に強い森づくりモデル林」概要の説明
- ② 植生調査(毎木調査、実生・萌芽調査)
- ③ データ整理
- ④ 森林(未整備区、整備区)の評価
- ⑤ 整備計画立案



植生調査の様子

### 3 結果・考察

新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者をしぼっての開催となりました。人数が少ないため、調査がスムーズにいくよう調査票を工夫したり、道具の共有が少なくなるよう準備を行いました。

班でのとりまとめ結果から、なぜ樹種が少ないのか、繁茂するコシダはどうするか、植栽するとすればどのような樹種が良いか、など意見が交わされ、森林の調査方法を習得し、森林整備に必要な視点を養っていただきました。

### 4 今後の取組・課題

植生調査プロットの復元、下刈り等事前準備には、森林ボランティアの方々にお手伝いいただきました。事前準備から当日の補助まで、ボランティアの方々のご協力は欠かせないものとなっています。

調査も4年目となり、データが蓄積されてきましたので、このデータを解析、活用し、今後の研修やモデル林整備につなげていきたいと思います。



室内にてデータ整理、森林の評価

### 5 課題に関わった林業普及指導員

森林林業技術センター 林業専門技術員 倉橋路枝

## 特用樹を活用した地域活性化研修会の開催について

森林林業技術センター 尾崎真也

重点方針：森林の多面的機能維持  
重点事項：多様で健全な森づくりの推進

### 1 はじめに

主伐までの収入源確保や地域活性化の材料として、ウリハダカエデやクロモジ等特用樹の栽培が注目を浴びています。地域に合った特用樹の栽培を地域の生産森林組合や林業研究グループ、集落で取り組むことは、山村地域の収益につながると考えます。そこで、ウリハダカエデ等特用樹の栽培、利用方法について学習し、指導・普及に必要な技術の習得を図ることとしました。今回、ウリハダメープルシロップの商品化を行った神河町の事例を聞くとともに、ウリハダカエデの苗木植栽の実習を行いました。

### 2 内容

日 時： 令和2年10月12日（月）10:30～16:00

場 所： 室内：大河内保健福祉センター2F 会議室 10:30～12:00

現地： 峰山県有林、砥峰高原 13:15～16:00

参加者：18名（受講者15名、技術センター3名）

プログラム

(1) 講義「シカに強い特用樹の森づくりについて」

講師：森林林業技術センター 林業専門技術員 尾崎真也

(2) 講義「神河町のウリハダカエデメープルシロップ生産への取り組み」

講師：神河町 前川特命参事

(3) 現地「ウリハダカエデの植栽とシカ防除資材設置実習」

講師：森林林業技術センター 林業専門技術員 尾崎真也、主任研究員 小長井信宏



室内研修の状況



神河町産ウリハダカエデメープルシロップの試食



ウリハダカエデ苗 左から裸苗、Mスター  
コンテナ苗、マルチキャビティコンテナ苗



ウリハダカエデ苗の説明



植栽実習の状況



シカ防除資材の説明



シカ防除資材設置状況



研修参加者

### 3 結果・考察

ウリハダカエデはシカ不嗜好性植物で、シカが多い地域でも生育する高木性落葉樹であることから造林事業や治山事業の植栽樹種として有望で、本県では神河町の峰山・砥峰高原周辺でよく見られます。「シカに強い特用樹の森づくりについて」の講義では、シカ食害試験（ウリハダカエデのほか、サカキ、シキミ、クロモジ、スギ、ヒノキ）の結果について説明しました。ウリハダカエデは、シカの食害を受けても萌芽による回復力が旺盛なため、速くシカの食害を回避する高さになるのではないかと思います。参加者との意見交換で、シカの多い場所では、ウリハダカエデを植栽したが激しく食害されて成長しなかった事例もあり、各地域での検証が必要と考えられました。また、「ウリハダカエデ苗木のつくりかた」テキストを配付しました。

神河町役場の前川特命参事からは、町の特産品づくりとしてのウリハダカエデメープルシロップ商品化の取組について報告していただきました。樹液の出る個体のマップづくりからよく出る個体の条件などを研究され、地域おこし協力隊員による食品検査、商品化の過程についてのお話は、香美町など他地域での地域活性化の今後の取組に大いに参考になりました。参加者からも、「ホースを小さめにするると不純物が少なくなる」「冷え込んだ次の日によく樹液がとれる」といった意見も出て、有意義な意見交換ができました。神河町産ウリハダカエデメープルシロップは、道の駅での販売とふるさと納税返礼品として検討されています。

現地実習では、ウリハダカエデ苗の植栽と単木防除資材の設置実習を行いました。農林職員、森林ボランティア、町職員、地域おこし協力隊員と幅広い参加者で、シカが多い地域でも「地域資源としての特用樹の利用」が可能なことを共有できました。



神河町でのウリハダカエデ樹液採取と  
商品化したメープルシロップ

### 4 今後の取組・課題

今後、神河町のような地域資源を使った地域活性化の取組を、研修会等を通じて紹介し、他地域にも広げていきたいと思っています。森林ボランティアが「楽しみながら山に入る」動機付けとして「樹液シロップ」は、有効であると考えられるため、ウリハダカエデ以外の樹液シロップについても情報収集に努めます。

### 5 課題に関わった林業普及指導員

森林林業技術センター 林業専門技術員 尾崎真也・倉橋路枝

姫路農林水産振興事務所 森林課 森林専門員 蛭田永規、主任 山下毅、職員 藤原美雪

## シカに強い森づくりに向けて～特用樹のシカ食害検証試験～

森林林業技術センター 尾崎真也

重点方針：森林の多面的機能維持  
重点事項：野生鳥獣対策の推進

### 1 はじめに

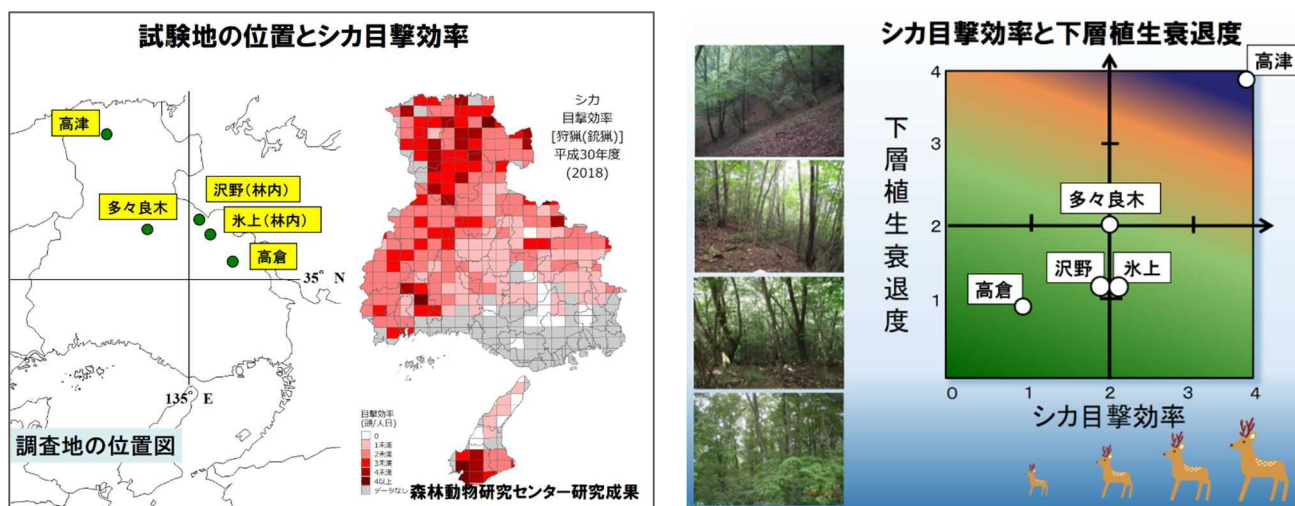
造林木のシカ被害対策として、シカ不嗜好性の樹木の植栽が検討されています。そこで、シカの嗜好性が低いと考えられ、なおかつ、特用樹として現金収入が期待できるウリハダカエデ、クロモジなどの苗木を植栽し、シカによる被食状況について検証試験を行いました。植栽木がシカ柵なしでも成長すれば、森林施業の低コスト化につながるほか山村地域の数少ない現金収入源として活用が期待できます。

試験は、森林林業技術センター林業専門技術員が、但馬丹波普及指導区の林業普及指導員、森林動物研究センターの森林動物専門員と共同で行いました。試験結果は、令和2年12月17日に開催された森林林業技術センターの試験研究成果発表会で報告しました。

### 2 試験方法

ヒノキ伐採跡地3カ所（針葉樹林と広葉樹林の混交整備事業地：香美町村岡区高津、朝来市多々良木、丹波篠山市高倉）とヒノキ強度間伐林分の林床2カ所（丹波市青垣町沢野、丹波市氷上町氷上）にウリハダカエデ、クロモジ、サカキ、シキミ、スギ（対照木）、ヒノキ（対照木）を各10～20本ずつ3～4月に植栽しました（試験地により植栽樹種は異なる）。試験地は、シカが多い場所から順に高津（超高密度）、多々良木（中密度）、沢野（中密度）、氷上（中密度）、高倉（低密度）で、下層植生の衰退度（森林動物研究センター研究成果）と併せて解析することとしました。

また、植栽木のシカ食害状況を、成長休止期（10～11月）に調査しました。



試験地の位置とシカ目撃効率、下層植生衰退度

### 3 結果・考察

被害調査の結果、地域で食害に大きな違いがありました。試験した植栽木のうちサカキ、ヒノキはシカに最も食べられやすく、ウリハダカエデ、クロモジは、シカが普通に食べることがわかりました。スギ、シキミは、シカの嗜好性が低く、食べられにくいことがわかりました。

表一 地域ごとの結果

| 地域                                                 | 無害<br>平均枝食害率<br>0% | 微害<br>平均枝食害率<br>1～39% | 中害<br>平均枝食害率<br>40～79% | 激害<br>平均枝食害率<br>100%               |
|----------------------------------------------------|--------------------|-----------------------|------------------------|------------------------------------|
| シカ高密度地域<br>北但馬<br>高津<br>シカ目撃効率4<br>下層植生衰退度4        |                    |                       |                        | ウリハダカエデ<br>サカキ<br>シキミ<br>スギ<br>ヒノキ |
| シカ中密度地域<br>南但馬<br>多々良木<br>シカ目撃効率2<br>下層植生衰退度2      |                    |                       |                        | ウリハダカエデ<br>スギ<br>ヒノキ               |
| シカ低密度地域<br>丹波<br>氷上、沢野、高倉<br>シカ目撃効率1～2<br>下層植生衰退度1 | シキミ                | ウリハダカエデ<br>スギ         | ウリハダカエデ<br>クロモジ<br>ヒノキ | サカキ<br>ヒノキ                         |

サカキ、ヒノキ

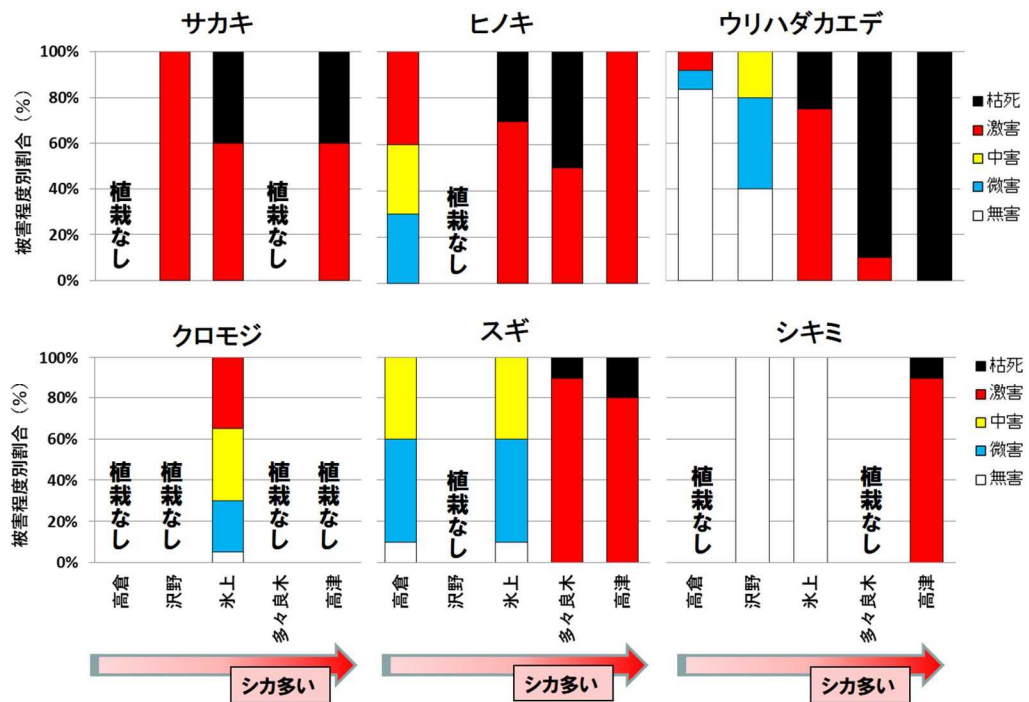
シカにとっても食べられやすい

ウリハダカエデ、クロモジ

シカは普通に食べる

スギ、シキミ

シカの嗜好性は低く食べられにくい



各試験地における樹種別のシカ食害状況（本数割合）

ウリハダカエデは、高倉、沢野のシカ低密度地域で食害は軽微であったことから、シカ低密度地域では柵なしで生育できるものと考えます。一方、シカが多い場所では、伸長期に激しく食害されると枯死するので、柵などの防除が必要になりました。クロモジは、枝食害率が約80%とかなり食害されましたが、萌芽による回復が旺盛で、今後の成長に注目していきたいです。サカキはシカの嗜好性が高く、激しく食害されるので、シカが少ない地域でも防除が必要になりました。シキミは、シカの嗜好性が低いですが、高津試験地のようにシカが超高密度になると食害されることがわかりました。

対照木についてみると、ヒノキはシカの嗜好性がきわめて高く、シカ低密度でも食害が多く、防除をしないと成長が見込めないことがわかりました。一方、スギはシカの嗜好性が低いものの、シカが高密度になると食害されることがわかりました。



高津試験地（シカ高密度）の状況：すべてシカに食い尽くされて裸地化している

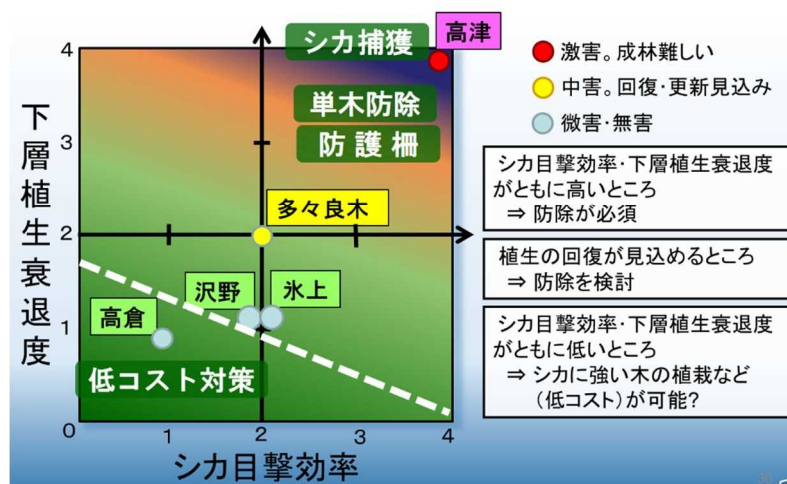


高倉試験地の状況：シカ低密度条件下でウリハダカエデは柵なしで生育する

#### 4 今後の取組・課題

シカ目撃効率と下層植生衰退度の「見える化」から柵をしない植栽について考えると、多々良木のように下層植生が衰退している地域は、シカ密度が低くても食害がひどくなる傾向がありました。植生が衰退している地域は、必ず柵などの防除をした方がよいと思われます。今回は植栽1年目の結果ですが、来年度以降も伸長成長や生存率についてモニタリングを行ってまいります。

#### シカ目撃効率と下層植生衰退度の「見える化」から 低コスト植栽（防除しない植栽）について考える



シカ目撃効率と下層植生衰退度とシカ被害の相互関係

#### 5 課題に関わった林業普及指導員

|             |                       |
|-------------|-----------------------|
| 森林林業技術センター  | 林業専門技術員 尾崎真也          |
| 森林動物研究センター  | 野生鳥獣資源活用専門員 石川修司      |
| 豊岡農林水産振興事務所 | 森林専門員 岡田英樹、主査 溝口達晋    |
| 朝来農林振興事務所   | 森林第2課 課長 上田敦祐、主査 中島寛哉 |
| 丹波農林振興事務所   | 森林課 課長 雑賀謙彰、課長補佐 尾畑俊彦 |

## 森林経営管理制度による間伐の実施

姫路農林水産振興事務所 藤原美雪

重点方針：新たな森林管理への支援

重点事項：森林経営管理法の運用支援

### 1 はじめに

神河町では、森林経営計画が策定できない森林を対象に、森林経営管理制度による森林所有者への意向調査が進められています。令和元年度に意向調査を行った大畑地区において切捨間伐を実施するため、ひょうご森づくりサポートセンターとともに作業仕様書案の検討や他事業との調整等を行いましたので、その概要を報告します。

### 2 内容

#### (1) 作業仕様書案の検討

ひょうご森づくりサポートセンターが作成した仕様書案を基に、間伐対象林の設定や間伐率、伐採木の処理等について、神河町及び中はりま森林組合と打合せを行いました。

現況把握のため、森林簿やレーザー測量の情報から森林情報や傾斜等を図化したデータをサポートセンターに作成いただき、より具体的に内容を検討することができました。



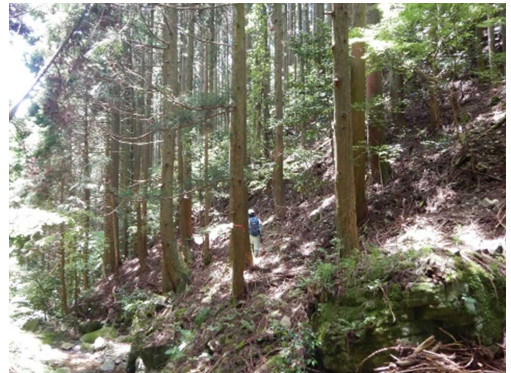
作業仕様書案の検討

#### (2) 他事業との調整

意向調査で集約化した森林すべてを森林経営管理制度により整備することは予算的に難しいことから、県事業等の活用を検討し、各事業担当との調整を行いました。

その結果、危険渓流にあたる箇所の伐採木の処理は緊急防災林（斜面对策）、保安林の切捨間伐は保安林整備事業の本数調整伐を実施することになりました。

さらに、保安林整備事業のための現地踏査から林業専用道開設案が浮上し、前向きに検討が進んでいます。



関係者による現地踏査

### 3 結果・考察

森林経営管理制度による切捨間伐は、実施してみたことで課題も見えたようですが、概ね上手くいったように感じられます。森林経営管理制度は市町が主体で行う事業ですが、準備段階では県やサポートセンターの関わりが不可欠だと感じました。また、普及指導員が連絡調整を行うことで、他事業の掘り起こしにも繋げることができました。

### 4 今後の取組・課題

森林簿や森林計画図だけでは現況把握が難しくなっているため、航空写真やレーザー測量によるデータ解析にも目を向けて普及指導ができるようスキルアップに努めていきたいです。

### 5 課題に関わった林業普及指導員

姫路農林水産振興事務所 森林課 主任 山下毅、職員 藤原美雪

## みとろフルーツパークで「しいたけ栽培教室」を開催

加古川農林振興事務所 柴原 隆

重点方針：その他

重点事項：その他

### 1 はじめに

加古川市上荘町にある、みとろフルーツパークでは、毎年しいたけ栽培教室を開催しており、林業普及指導員が指導したので報告します。

### 2 内容

日 時： 令和3年3月7日（日）10:00～16:00

場 所： みとろフルーツパーク （加古川市上荘町見土路）

参加者： 39組

プログラム：

#### ① 原木しいたけ栽培方法の講義

テキストを使用して植菌から発生までの作業手順や植菌後のほだ木の管理方法について講義を行いました。

特に夏場の温度管理、水分管理を重点的に指導しました。

#### ② 植菌作業の指導

参加者1組あたりに2本の原木と駒菌80個を配布し、ドリルでの穿孔、木槌による駒菌の打ち込み作業を指導しました。

子供連れの参加者に穿孔は親が、打ち込みは子供が行い家族で作業が体験出来るように配慮しました。

### 3 結果・考察

新型コロナウイルス感染症対策のため、講義については倉庫の扉を開放して座席間隔を広くして実施しました。

コロナ禍での外出自粛が続く中、屋外で手軽にできる作業としてしいたけ栽培に注目が集まっており、アウトドアレジャーの感覚で参加されているようでした。

木工DIY等と同様に一般県民が木に親しむきっかけを提供することができたと考えられます。

### 4 今後の取組・課題

今後は、木育的な要素も加えた講習会に発展させることも検討してまいります。

### 5 課題に関わった林業普及指導員

加古川農林振興事務所 森林林業専門員 柴原 隆



植菌作業の指導



子供連れ家族の植菌作業

## 兵庫県林業普及指導事業 70 周年記念大会の開催について

森林林業技術センター 尾崎真也

重点方針：その他

重点事項：その他

### 1 はじめに

本県では、昭和 25 年に林業普及指導事業が始まってから、今年（令和 2 年）で 70 年を迎えたことから、「兵庫県林業普及指導事業 70 周年記念大会」を開催しました。今回は、10 年間の普及活動を振り返りながら、これからの新たな普及を展望するための林業普及指導員研修会としました。

### 2 内容

日 時： 令和 2 年 12 月 1 日（月）13:10～16:50

場 所： 兵庫県民会館 9 F けんみんホール  
神戸市中央区下山手通 4 丁目 16-3

参加者：36 名

まず、農政環境部の寺尾俊弘部長から開催の趣旨説明を兼ねた開会の挨拶の後、県林業改良普及協会の伍々博一会長からの祝辞では、「今後はコンテナ苗を活用した、伐採と造林の一貫施業による主伐再造林を進めることが大事」と激励をいただきました。

続いて、今年度をもって退職される普及指導員の谷俊徳氏、津禰鹿信雄氏に伍々会長から感謝状が贈呈されました。

挨拶・表彰行事の後、岩村主幹による 10 年間の林業普及の振り返り、鹿児島大学の寺岡行雄教授による基調講演のほか、林業普及指導員による活動発表を行いました。



会場の状況

#### (1) 基調講演「これからの林業・木材産業の展開とスマート林業構築の意義」

講師：寺岡行雄 氏（鹿児島大学農学系教授）

基調講演では、川上から川下にいたる課題と問題点を指摘されました。稼げる林業の仕組みづくりや、低コスト造林の可能性を見据え、ドローンや通信技術、レーザー計測など、ICT等の先端技術を活用した「スマート林業」の進め方について解説されました。サプライチェーンマネジメント（SCM）の実現に向けた解決すべき課題、木材産業におけるビッグデータの活用等について稼げる林業の視点からアプローチをいただきました。



寺岡教授

#### (2) 活動発表 1 「主伐・再造林における低コスト施業に向けて」

発表者：森林林業技術センター 林業専門技術員 尾崎真也

「主伐・再造林推進プロジェクトチーム」で実施した、県下 7 カ所の再造林地の調査から課題と低コスト化検討結果を報告しました。



尾崎専門技術員

**(3) 活動発表 2 「壊れにくい作業道づくりと北播磨産の木材利活用への取組」**

**発表者：加東農林振興事務所 森林土木専門員 片岡好章**

壊れにくい作業道を開設する上での工夫の紹介と北播磨の木材需要を拡大するため、公共建築物の木造・木質化を進めてきた取組や北播磨産木材を活用した製品開発の状況を報告しました。



片岡専門員

**(4) 活動発表 3 「獣害に強い集落づくりの取組について」**

**発表者：光都農林振興事務所 主査 小倉佳紀**

平成 25 年度から着手した「ストップ・ザ・獣害」事業を契機に、農山村における農業への野生鳥獣被害対策に地元住民が主体的に取り組んだ事例を報告しました。



小倉主査

**(5) 活動発表 4 「新たな森林更新の手法について」**

**発表者：丹波農林振興事務所 課長補佐 尾畑俊彦**

手入れが遅れた人工林において、主伐前の樹下植栽により下層植生の充実を図り、主伐後の更新をスムーズに行うための実証の取組について報告しました。



尾畑課長補佐

**3 結果・考察**

鹿児島大学寺岡教授の基調講演では、主伐が進む中で、ICTを使った安全な素材生産を行っている事例紹介が印象に残りました。ドイツやスウェーデンで「人が地面に立つことなく、丸太を持つことのない林業」を作っていく取組や、九州でのタワーヤーダとロージンググラップルによる作業システムの紹介などスマート林業の実現により、安全性を確保し、若い人が働きたいと思える魅力ある林業を目指していくことが必要であると感じました。

**4 今後の取組・課題**

今回、基調講演が「スマート林業の構築」で、各普及指導区からは、多岐に渡る分野の報告がありました。林業職場の扱う課題は、ここ 10 年で育林、木材から森林土木、獣害対策まで格段に幅広くなりました。しかしながら時間の都合で、講演や活動発表が一方的な説明になったのは否めませんでした。今後の普及職員研修大会については、参加者が発言できるよう質疑の時間を確保するとともに、議論が深まるようテーマを絞ることについても検討してまいります。

**5 課題に関わった林業普及指導員**

林務課 主幹 岩村 裕

森林林業技術センター 林業専門技術員 尾崎真也・倉橋路枝

## Ⅱ 令和2年度 林業普及指導事業の概要

|                                   | 内 容                                                                                                                                                                                           |
|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 普及指導員の配置                          | ・林政調整班主幹1名 専門技術員2名 林業普及指導員等42名 計45名                                                                                                                                                           |
| 普及指導事業の実施計画                       | ・3普及指導区ごとに、普及指導の重点事項を定め、集中的に普及指導活動を実施する。                                                                                                                                                      |
| 普及指導職員等の研修                        | ・重点的課題に対応した研修・林業技術普及研修・段階別研修<br>・林業普及指導員近畿ブロックシンポジウム<br>（時期:8月18日 場所:オンライン審査(京都府) 発表:丹波農林）<br>・林業普及職員研修大会 ・国実施研修                                                                              |
| 巡回指導                              | ・普及指導区別の計画等会議の開催 年2回(調整会議及び進捗会議)                                                                                                                                                              |
| 林業普及情報活動システム化事業                   | ① 現地情報の収集及び提供 「年輪」の作成等（林業普及掲示板の活用）<br>② 「普及情報報告書」(各事務所作成)の収集及びリスト作成<br>③ 特定情報調査の実施<br>・林業機械保有状況調査実施<br>・林業試験研究情報調査実施<br>「高強度原木の選別による高強度横架材の効率的な生産について」                                        |
| 後継者育成                             | 指導林家・青年林業士<br>・指導林家・青年林業士登録者数 84名（令和3年4月1日現在）<br>・全国林業後継者大会・全国植樹祭(5月30日・31日 島根県→次年度に延期)<br>・指導林家研修会の開催(12月15日)<br>・視察研修の実施                                                                    |
|                                   | 林研グループ活動<br>・兵庫県林業研究グループ連絡協議会加入グループ(17グループ)(令和3年4月1日現在)<br>・近畿ブロック林業グループコンクール参加(9月16日 オンライン審査 三重県)<br>兵庫県の代表発表:相生市林業研究グループ<br>・全国林業後継者大会・全国植樹祭(5月30日・31日 島根県→次年度に延期)<br>・林研グループリーダー研修（10月27日） |
| 林業事業体等の森林・林業研修会                   | ・林業技術普及研修(林業経営、施業技術、林産)等                                                                                                                                                                      |
| 森林林業教育協力員                         | ・登録者数129名                                                                                                                                                                                     |
| 森林総合監理士研修                         | 森林総合監理士候補となる若手技術者等が、森林総合監理士に求められる知識や技術を習得するための「技術者育成研修」や、若手技術者等が、森林総合監理士活動を実践していくうえで必要な能力の向上を図る「実践研修(現地検討会)」など                                                                                |
| 革新支援担当の取組<br><br>林政調整班主幹<br>専門技術員 | 全県的な普及課題に対応するため、普及担当課長等、研究機関、林業関係団体と連携し、政策課題や研究成果の普及、現場ニーズに応じた全県横断的な普及活動の支援、研修の企画・運営を行う。<br><br>(主な課題)<br>① 県産木材の利用促進<br>② 林業収益性の向上<br>③ 森林の多面的機能の維持・向上                                       |

### Ⅲ 令和２年度 林業普及指導職員の研修実績

| 研 修 名                          |                                |                       | 実施<br>回数 | 研修<br>人員 | 研修日<br>数  | 備 考                                                         |
|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------|----------|----------|-----------|-------------------------------------------------------------|
| 県<br><br>実<br>施                | 革新支援普及研修                       | 全 域                   | 2        | 57       | 2         | 8/31、9/6生産森林組合研修                                            |
|                                | 段階別研修                          | 普及担当課長等               | 1        | 19       | 1         | 5/20(資料配付 担当者会議)                                            |
|                                |                                | 若手職員研修                | 1        | 7        | 1         | 3/19(森林林業技術センター)入庁1年目 資源量調査                                 |
|                                | 林業技術普及研修<br>(普及指導員専門<br>項目別研修) | 森林経営                  | 2        | 33       | 2         | 12/15 指導林家・青年林業士研修(ドローン)、10/27 林研<br>グループリーダー研修(クロモジ)       |
|                                |                                | 機能保全                  | 1        | 28       | 1         | 2/2森林大学校にてオンライン(災害緩衝林整備研修)                                  |
|                                |                                | 造 林                   | 5        | 73       | 4         | 7/10植栽更新(丹波)、9/11択伐更新(香美)、10/23シカ柵点<br>検(宍粟)、3/9接ぎ木(センター苗畑) |
|                                |                                | 林 産                   | 1        | 33       | 1         | 2/3オンライン(アフターコロナの林業・木材産業のあり方 遠<br>藤日雄氏講演)                   |
|                                |                                | 特用林産                  | 1        | 18       | 1         | 10/12特用樹ウリハダカエデを活用した地域活性化(神河町)                              |
|                                |                                | (森林保護Ⅱ)               | 1        | 23       | 1         | 10/8森林動物研究センター森林動物指導員研修(生息地管<br>理・森林被害対策研修:養父市関宮町)          |
|                                | 普及指導職員研修大会                     |                       | 1        | 36       | 1         | 12/1 70周年記念大会(スマート林業について寺岡教授講<br>演、革新支援、各普及区からの事例報告:県民会館)   |
| 研 修 名                          |                                | 研修人員                  | 研修日数     |          | 備 考       |                                                             |
| 国<br><br>実<br>施<br>の<br>研<br>修 | 本 所<br>(八王子)                   | 市町村林務担当者<br>(基礎)      | 1        | 5        | 7月        | 林崎(神戸市)                                                     |
|                                |                                | 森林経営管理制度の<br>実務       | 1        | 3        | 7月        | 藤田(県森連)                                                     |
|                                |                                | 研修企画運営実務<br>(先進事例学習)  | 1        | 4        | 10月       | 下郷                                                          |
|                                | 林業機<br>械化セン<br>ター              | 高性能林業機械(女<br>性担当)     | 1        | 5        | 9月        | 藤原(美)                                                       |
|                                |                                | 高性能林業機械(森<br>林大学校指導者) | 1        | 2        | 8月        | 下郷                                                          |
|                                |                                | 森林作業道(作設技<br>術)       | 1        | 5        | 10月       | 森本(祥)                                                       |
|                                | 技術力維持・向上対策研修<br>(実践研修)近畿中国     |                       | 3        | 3        | 10月       | 倉橋、山下、足立(中はりま森林組合)                                          |
|                                | 林業普及指導職員全国シンポジウム               |                       | 2        | 2        | 東京都 11/21 | 竹中、上田                                                       |
|                                | 林業普及指導職員近畿ブロック<br>シンポジウム       |                       | 1        | 1        | 京都府 8/18  | オンライン審査 尾畑                                                  |
|                                | 近畿ブロック林研グループコン<br>クール          |                       | 1        | 1        | 三重県 9月    | オンライン審査                                                     |

# Ⅳ 令和2年度 林業普及指導職員名簿

令和2年7月1日変更

| 所 属             |  | 職 名         | 氏 名   | 普及指導区 | 森林<br>総合<br>監理<br>士 | 専 門 項 目  |          |      |               |               |          |    |          |
|-----------------|--|-------------|-------|-------|---------------------|----------|----------|------|---------------|---------------|----------|----|----------|
|                 |  |             |       |       |                     | 森林経営     |          | 施業技術 |               |               |          | 林産 |          |
|                 |  |             |       |       |                     | 林業<br>経営 | 機能<br>保全 | 造林   | 森林<br>保護<br>Ⅰ | 森林<br>保護<br>Ⅱ | 林業<br>機械 | 林産 | 特用<br>林産 |
| 林 務 課 (1名)      |  | 林政調整班主幹     | 岩村 裕  | 全県    |                     | ○        |          | ○    |               |               | ○        | ○  |          |
| 森林林業技術センター (2名) |  | 専門技術員       | 尾崎 真也 | 全県    |                     | ○        |          | ○    | ○             | ○             |          | ○  |          |
|                 |  | 〃           | 倉橋 路枝 | 全県    | ○                   |          | ○        |      |               |               | ○        |    | ○        |
| 県立森林大学校 (1名)    |  | 課長補佐        | 有元 正彦 | 全県    |                     | ○        |          | ○    |               | ○             |          | ○  |          |
| 森林動物研究センター (3名) |  | 課長(獣害対策担当)  | 田口 彰  | 全県    |                     |          |          |      |               | ○             |          |    |          |
|                 |  | 森林動物専門員     | 井上 裕司 | 全県    |                     |          |          |      |               | ○             |          |    |          |
|                 |  | 野生鳥獣資源活用専門員 | 石川 修司 | 全県    |                     |          |          |      |               | ○             |          |    |          |
| 計               |  |             | 7名    |       | 1                   | 3        | 1        | 3    | 1             | 5             | 2        | 3  | 1        |

| 指導区  | 所 属               | 職 名       | 氏 名    | 担当市町名       | F | 専 門 項 目 |   |   |   |   |   |   |   |
|------|-------------------|-----------|--------|-------------|---|---------|---|---|---|---|---|---|---|
| 阪神淡路 | 神戸農林振興事務所 (4名)    | 森林課長      | 上床 雄治  | 神戸市         |   | ○       |   |   |   |   |   |   |   |
|      |                   | 森林専門員     | 土井 幸亮  | 神戸市         |   |         |   |   |   |   | ○ | ○ |   |
|      |                   | 課長補佐      | 谷 俊徳   | 神戸市         |   |         |   | ○ | ○ |   |   |   |   |
|      |                   | 課長補佐      | 村田 淳   | 神戸市         | ○ |         |   |   |   | ○ |   |   |   |
|      | 阪神農林振興事務所 (2名)    | 里山・森林課長   | 野村 恵美  | 管内全域        |   |         | ○ |   |   |   | ○ |   |   |
|      |                   | 課長補佐      | 岩崎 幸太郎 | 管内全域        |   |         |   |   |   | ○ |   | ○ |   |
|      | 加古川農林水産振興事務所 (2名) | 森林林業専門員   | 柴原 隆   | 加古川市・高砂市    |   |         |   |   |   |   | ○ |   | ○ |
|      |                   | 課長補佐      | 川崎 大   | 明石市・稲美町・播磨町 |   |         | ○ |   | ○ |   |   |   |   |
|      | 加東農林振興事務所 (4名)    | 森林土木専門員   | 片岡 好章  | 管内全域        |   |         |   | ○ |   |   |   |   | ○ |
|      |                   | 課長補佐      | 下田 惣一  | 三木市・小野市・加西市 |   |         |   | ○ |   |   |   |   |   |
|      |                   | 課長補佐      | 久保田 誠司 | 多可町         |   |         |   | ○ | ○ |   |   |   |   |
|      |                   | 主査        | 畝井 良幸  | 西脇市・加東市     |   |         |   |   |   | ○ | ○ | ○ |   |
|      | 洲本農林水産振興事務所 (2名)  | 所長補佐兼森林課長 | 谷口 英樹  | 管内全域        |   |         | ○ |   |   |   | ○ |   | ○ |
|      |                   | 主査        | 大橋 正知  | 管内全域        |   |         |   | ○ | ○ | ○ | ○ |   | ○ |
| 計    |                   |           | 14名    |             | 1 | 2       | 6 | 3 | 4 | 7 | 2 | 6 | 0 |

|      |                  |             |                      |            |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|------|------------------|-------------|----------------------|------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 中播西播 | 姫路農林水産振興事務所 (4名) | 森林専門員       | 蛭田 永規                | 管内全域       | ○ |   | ○ |   |   |   | ○ |   |   |   |
|      |                  | 森林林業専門員     | 藤井 孝明                | 市川町・福崎町    |   |   | ○ |   |   |   |   |   | ○ |   |
|      |                  | 主任          | 山下 毅                 | 姫路市        |   |   |   |   |   | ○ | ○ | ○ |   |   |
|      |                  | 職員          | 藤原 美雪                | 神河町        |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   | ○ |
|      | 光都農林振興事務所 (6名)   | 所長補佐兼森林第1課長 | 竹中 寛                 | 管内全域       | ○ | ○ |   |   |   |   | ○ |   |   |   |
|      |                  | 主査          | 小倉 佳紀                | 宍粟市波賀町・千種町 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |   |
|      |                  | 主査          | 妻形 淳史                | 宍粟市山崎町     |   |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
|      |                  | 主任          | 大黒 明子                | 佐用町        |   | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 主任   |                  | 黒川 健二郎      | 宍粟市一宮町               |            |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |   |
| 主任   |                  | 廣岡 充生       | たつの市・太子町・相生市・赤穂市・上郡町 |            |   |   | ○ |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 計    |                  |             | 10名                  |            | 2 | 3 | 2 | 1 | 1 | 5 | 2 | 2 | 1 |   |

|      |                  |        |            |             |   |    |    |    |   |    |   |    |   |   |
|------|------------------|--------|------------|-------------|---|----|----|----|---|----|---|----|---|---|
| 但馬丹波 | 豊岡農林水産振興事務所 (5名) | 森林専門員  | 岡田 英樹      | 管内全域        |   |    | ○  |    |   |    | ○ |    |   |   |
|      |                  | 課長補佐   | 福田 祐介      | 豊岡市         |   |    |    |    | ○ |    |   |    | ○ |   |
|      |                  | 課長補佐   | 濱田 和則      | 美方郡         | ○ |    |    | ○  |   |    | ○ |    |   |   |
|      |                  | 主査     | 溝口 達普      | 豊岡市         |   |    |    |    |   |    |   | ○  | ○ |   |
|      |                  | 主任     | 永井 英司      | 美方郡         |   |    | ○  |    |   | ○  |   |    |   |   |
|      | 朝来農林振興事務所 (5名)   | 森林第2課長 | 上田 敦祐      | 朝来市         | ○ | ○  |    |    |   |    | ○ |    |   |   |
|      |                  | 担当課長補佐 | 津禰鹿 信雄     | 養父市         |   |    |    |    |   |    |   | ○  | ○ |   |
|      |                  | 主査     | 平野 修之      | 養父市(養父・八鹿)  |   |    |    | ○  |   |    |   |    |   | ○ |
|      |                  | 主査     | 中島 寛哉      | 朝来市(朝来・和田山) |   |    |    |    | ○ |    |   |    |   |   |
|      |                  | 主任     | 梅垣 博之      | 養父市(大屋・関宮)  | ○ | ○  |    |    |   |    |   |    |   |   |
|      |                  |        |            |             |   |    |    |    |   |    |   |    |   |   |
|      | 丹波農林振興事務所 (4名)   | 森林課長   | 雑賀 謙彰      | 丹波篠山市       |   |    | ○  |    |   |    |   | ○  |   |   |
|      |                  | 課長補佐   | 南都 義道      | 丹波市柏原町・山南町  |   |    |    | ○  |   |    |   | ○  |   | ○ |
|      |                  | 課長補佐   | 尾畑 俊彦      | 丹波市氷上町・青垣町  |   |    |    |    | ○ |    | ○ |    |   | ○ |
| 課長補佐 |                  | 上坂 亮太  | 丹波市春日町・市島町 |             |   |    |    | ○  | ○ |    | ○ |    |   |   |
| 計    |                  |        | 14名        |             | 3 | 5  | 4  | 3  | 3 | 5  | 3 | 4  | 2 |   |
| 合計   |                  |        | 45名        | (うち農林38名)   | 7 | 13 | 13 | 10 | 9 | 22 | 9 | 15 | 4 |   |